

**令和4年度 第2回 国産材の安定供給体制の構築に向けた
四国地区需給情報連絡協議会 議事録**

- 1 日 時：令和5年1月 17 日(水) 13:30～15:30
- 2 場 所：ウェブ会議(Zoom)
- 3 出席者：別紙のとおり
- 4 議事次第及び配布資料：別紙のとおり
- 5 概 要

(1) 冒頭挨拶

○高知県素材生産業協同組合連合会 本山 代表理事（四国地区需給情報連絡協議会）

昨年も新型コロナウイルス感染症の話題が一年を通してあり、ワクチン接種が進み減少はしているが、昨年末には第8波とみられる増加傾向となり、年末年始の移動が制限なしとなったことから今後、さらなる増加も心配され、まだしばらくは三密等感染対策の対応が必要です。

一方、木材業界においては、いわゆる「ウッドショック」による価格の高騰が収まり、一部ではコロナ前の価格まで下がってきている状況も見受けられます。

しかし、木材の国産材自給率は毎年増加している状況もあり、今後輸入材への依存から国産材への切り替えを更に進め、海外市場の影響をうけにくい取組が重要であるが、現状ではロシアのウクライナへの侵攻に収束が見えない中、輸入材の制限等による影響も懸念され、先行きは見通せない現状です。

こうした中、国産材の自給率増加に当たっては、安定した供給体制を図ることが重要視され、川上から川下までの幅広い連帯強化と情報共有の一元化が重要となっています。

本日は、ウェブ会議となるが各分野の構成員の皆様から、それぞれの立場からの現状実態・今後の見通し等について、忌憚のない意見をいただき、四国地区において川上から川下までの情報共有を図り、今後の動向等に注視が必要です。

本日はよろしくお願いします。

(2) 議事

○国立大学法人 高知大学 川田 名誉教授（以下、座長）

前回の会議は令和4年6月に開催され、ロシア・ウクライナ情勢や円安の動向に不透明感が強い状況においての会議開催であった。それから半年ほど経ち、年も明け、いわゆるウッドショックを経て特に価格の推移は、皆さんが注目しているところであると思います。

それではまず、林野庁から資料の説明をいただき、現在の需給動向、情報共有のあり方等木材需給の変動に対応できる体制の構築等について議論していきたい。

現在の状況について、関連資料含めて林野庁から資料の説明をお願いします。

○林野庁 木材産業課 永島 課長補佐

資料1～4、参考資料1について説明。

○川田 座長

ただ今の林野庁のご説明によると、製品の輸入累計量は2022年はウッドショックが発生した2021年に比べると回復傾向。輸入量の推移は、輸入在庫が増え、年後半からの輸入減少、更に国内では需要が伸びていない。製品出荷量動向等からも明らかな傾向。輸入材・国産材ともに価格は高値圏だが下落傾向。

また、構造用合板は高止まり状況で、工場への原木入荷量(製品・合板とも)は2019年コロナ前の状況になってきたとの報告であった。

それでは、これらの統計的な情報なども踏まえ、現状や見通しをお聞きたい。今回の議題として、需給動向と一緒に、木材需給の急激な変動に対応できる体制の構築についても発言いただきたい。今般のウッドショック、また、経常的な安定需給といった観点からも、情報の適時適切な共有が非常に重要であると認識。会議に先立って伺ったアンケートでは、本協議会や、協議会以外にどういった内容の情報共有が求められるか。需給関係をはじめ協議会のあり方、今後の木材流通、供給体制のあり方等について、みなさんの実情を踏まえ、お考えを発表いただきたい。

それではまず川下よりお願いします。

一般社団法人 JBN・全国工務店協会 山田 理事(株式会社山田工務店 代表取締役)

木造軸組工法の家は前年対比で減少しており、厳しい状況になっている。支えているのはパワービルダーの会社。我々のような地域の工務店はこれ以上に厳しい状況に陥っている状況。私たちの顧客層は少し前までは坪単価80～85万円で成立していたが、木材の他、あらゆる建材が高騰し、現在は坪単価100万円台の価格帯になり、顧客に示すと難しくパワービルダーへ流れている状況である。

川中の方へお聞きたいが、直近での見積単価で、例えば梁材のKDで105×210×4m材料を、スギKDとドライ・ビームKDで見積を取ったところ、スギKDが11,025円、ベイマツが9,702円。また、105×210×5m材料はスギKDが18,420円、ベイマツが13,119円、4mではスギが12%高く、5mはスギが29%高い。弊社としてもスギの使用を望んだが、価格が2割差もあるためベイマツを使わざるをえない。この単価は一般的な単価なのかお聞きたい。

○川田 座長

質問はディスカッション時で対応したい。

○一般社団法人香川県木材協会 樋口 会長

香川県は昨年11～12月より需要減退のため価格が弱い。木材の価格基準はどこで定めるのか。従来は原木市場でおおよその木材単価が決定していたが、今は川上の丸太なのか、一般のプレカット会社なのか、値段が複雑である。

先ほどの質問での、ベイマツKDが4mで立米11万円位なので、適当ではないか。スギ材の場合、原木価格が下がると現在価格で立米12万5千円。スギ材の価格が下がらないのが原因ではないかと思っているが、仕入れの時期により値段は変動するのではないか。

香川県では1月の市場開市にて非常に買い方が弱く、需要がかなり減少しており、先行きが不

安である。

○川田 座長

価格設定はどの段階でし、今まではどこで決められていたのか。

○一般社団法人香川県木材協会 樋口 会長

原木市場で概ね決定し、その次に製品市場で決定。ほとんど製材工場、木材市場、製品市場との話し合いで決まっていたが、最近の状況ではプレカットの需要が非常に増え、プレカット会社の注文材に応じ、欲しいものは高く、いらぬものは安くと極端な値段が出来てきたのではないかと。原価が身近に感じられない状況である。

○全国建設労働組合総連合 四国地方協議会 大地 執行委員長（全徳島建設労働組合）

建築材料が高騰し、工務店は早期注文しなければ、手に入らない材料が出始めた状況。木材はある程度入荷するが、その他資材の入手が難しい現状で思うように工期が進まない状況が続いている。

○川田 座長

全体ディスカッションを行いたい。

見積依頼時、梁やその他材で KD 材のスギとベイマツの価格差によってスギ使用が難しい状況について、どうしてこのような価格差が起こるのか、または今後の対応について川中にお聞きしたい。

一般社団法人 JBN・全国工務店協会 山田 理事（株式会社山田工務店 代表取締役）

弊社は材木屋を信用し仕入をしている。市場、製材、材木店等と流れる中で、どこで単価を決めているのかわからないが、最終的に消費者へお金を転嫁していくことになる。

現在サプライチェーン等行っているが、それぞれの利益のため中間マージンが必要となるので、可能な限り中間が少ない方が消費者に安価に提供できる。そういった点を見直さないと地域の工務店は生き残れない。単価がどこで決めているのかお聞きしたい。

○一般社団法人香川県木材協会 樋口 会長

現在ベイマツは約立米5万円で入荷し、11 万円は適正な価格ではないか。KD 材の流れは全国的に同様である。大手会社の出荷金額が基準となる。一方、スギ材は山によって違うが、成長の年輪によって山側の値段は相違する。スギ材の大小によって値段が違うため安価可能と思われるが、スギ材は加工および乾燥料が高額している。また外材と比べ少量のため流通経費も高額になるのが原因ではないか。

○川田 座長

次に川中へ現状等お聞きしたい。

○ウッドファースト株式会社 伊藤 代表取締役

弊社は製品市場へ出荷が多く、例年 12～1月は市場の在庫調整で出荷量が制限されてしまうが、今年は入荷制限も無く動きが良い。

得意先より木造住宅の注文は非常に厳しく、分譲物件でプレカット会社等も支えられており、価格的にも非常に厳しい状況。市場や問屋は高値である外材在庫を販売することで利益のマイナスに対処するために国産材を販売していることもあり、例年より国産材の注文が多い。今後在庫がある程度片付き、新たに安価な外材が入荷して来た時に、国産材の立場が今よりもっと厳しい状況になるのではないかと。折角広がった国産材需要を減らさないためにも国産材のメリットを川下のビルダーへ伝えて、国産材の安定需要と供給に努めていくことが必要。

原木価格がウッドショック以来下がらない中、燃料・電気等の高騰により原材料が非常にコストアップしており、予想以上に利益を圧迫している。今後、コスト削減等の対応を早急に考えていかなければならない。

先ほどの話で、杉の平角においては 150・180 のサイズで平角を使用し、尺上はベイマツが良いのではないかと。210・240 は中間点であり判断に苦慮するところ。5 m材は集成材を使用するなど良い所を採用すればよいと思う。今後も国産材のスギ・ヒノキの良さをアピールして需要につなげたい。

○宇和国産材加工協同組合 井上 代表理事

製材は製品価格に、チップ価格も影響する。ウッドショックでは上昇しているが、チップ価格は昔より安価となっており、木材価格も同様である。

また、現在は光熱費が非常に高騰しており、少しでも製材価格を高く販売しないと工場稼働が困難となっている。製材の生産活動のためには、原木の安価仕入だが山側が困難になる。従来の製造価格では、生産コストが 100%吸収できていない為に製材会社や素材生産業者の減少に繋がった。原価で販売しないと事業継続は不可能であり、補助金頼みでは前進不可能。今後原価の見直しをし、自力再生可能な業界にしていかなければならない。

平角の問題は国産スギ材で大量生産しても、価格調整が困難で設備等や経費がかさみ平角製造に二の足を踏んでいる状況。ウッドショックは輸入材減により国産材価格が上昇したが、無理な価格で輸入材と競争しても難しいので、ある程度輸入材を数量調整しなければ、いくら協議をしても前進しないのではないかと。努力以上に安価で限界なので、国等に対応をお願いしたい。

○八幡浜官材協同組合 菊池 代表理事

昨年末から年始は円安のため出荷が好調であったが、円高になると外材価格下降のため、年末ぐらいから影響がでるとの見通しである。

平角の件は量産工場では安価可能では。現在のスギ原木価格から概ね 10 万円。売れ行きの良いものを製造し、中断して製造するとなると高値は仕方ない。平角を専門または量産する工場があれば、価格が落ち着き今はその途中ではないかと。

○林野庁 木材産業課 永島 課長補佐

先ほどの件で、チップ価格については、毎月「モクレポ」という情報紙を出しているが、こちらに地域別、月別の推移を示す表を記載しているので確認してもらえればと思います。

価格決定において、輸入材シェアが多い中で輸入材の需給動向の影響を大きく受けていると承知しており、いわゆるウッドショック発生に至った背景の一つでもある。一方日本では森林資源も充実して来ており、使える状態になって来ているので、林野庁としても今後資源を使用し国産材のシェア拡大、安定的な国産材の需要供給に取り組んでいきたい。

○川田 座長

もう一方、バイオマス関連でコロナ、ウッドショック後の状況をお聞きしたい。

○倉敷紡績株式会社 徳島バイオマス発電所 岩城 所長

木質バイオマスの燃料チップについて、地域差はあるが、ウッドショック・コロナショックの影響よりも、輸入材メインの大型バイオマス発電所が輸入材価格高騰のため、当初計画より国産材の利用比率を増加している影響が大きい。価格よりも集材の影響が大きい。全国で近隣の大型バイオマス発電所が稼働または火力発電所が混焼を開始している地域は同様に影響が大きい。素材生産業者は高値売買のため良い面があるが、国産材メインの中小発電所は非常に厳しい状況になってしまう。

今後、輸入材価格が落ち着いてくれば国産材を使用しなくなる状況も出て来て、価格変動の要因になるのではないかと。この状況等緩和施策を国へ期待する。

○川田 座長

円安、大手・中小バイオマス発電所の競合問題、燃料を巡っての競合問題が起こりつつある。木質バイオマスは森林資源の有効活用とし大きな意味があり、社会的な要請も高まり業界同士の違った競合問題が一方では生まれている実情がある。

次は川上をお願いします。

○株式会社久万木材市場 片岡 営業部長

年末年始にかけ雪の影響により山側がストップし出材はゼロに近い状況。現在は年末までの出材分に対応しているが、初市は量も少なく値段は良となった。雪の影響が大きい地区のため、今後出材減はないと思うが、需給バランスにより価格下降も予想される。

○川田 座長

今後の見通しはどうか。

○株式会社久万木材市場 片岡 営業部長

現在、出材順調であり、補助事業等もあり年度末に向け出材増により原木価格下降になるのではないかと。需給の動きが懸念な点である。

○高知県林材株式会社 谷 代表取締役

12月市売単価は前年比大幅減となっている。1月の市売出荷状況は12月同程度。単価はスギの3m概ね18~28cmが安価、ヒノキ24~28cm、スギ4mの30cm以上が販売しにくい状況。販売方法はセリ売り及び月売りで現在売れない材はないが、価格面はやや下降気味。今後3月にかけて状況不明だが、丸太価格が令和元年時値に近づきつつあり、これ以上の価格下降は経営へ影響してくる。

○川田 座長

36cm上材、大径材は市場へ出材されているか。

○高知県林材株式会社 谷 代表取締役

当社は天然木を中心とした銘木市場のため、30cm以上の国有林、民有林の出材が多く、販売可能であり、高値になることもある。ただし、クロシンは販売しづらい。

○川田 座長

大径材の販売が良くないと聞く。製材業界の取組方法と流通業者の対応が今後の課題ではないか。次に素材生産業者の方にお伺いしたい。

○株式会社とされいほく 石垣 代表取締役副社長

原木の生産状況はウッドショック後も安定出荷している状況。当社は素材生産の委託や請負事業が中心のため、価格影響によつての生産調整は難しい。自社所有林であれば一定対応可能ではないかと思う。

資源が充実してきており素材生産業者としてはうれしいことではあるが、価格を安定させるには、原木生産側が安定供給するべきと考えている。ただ素材生産業者の減少により一定量の安定供給をするとなると皆伐が必要となるが、皆伐後については再造林が必要で、自社での取組ができないのが問題であり、今後の対応に苦慮するところです。

○川田 座長

次は行政にお聞きしたい。

○高知県 木材増産推進課 中屋 課長

充実してきた資源を有効活用しながら、一定皆伐も推進し原木生産に取り組んでいる。昨年の生産量は65.6万m³、最終的に85万m³が目標。最終的な取組のために一定皆伐を進める必要があり、2030・2050年カーボンニュートラルの森林吸収対策として、森林の若返りも進める中で、現在再造林率が全国平均と同率の概ね4割であるが、7割に引き上げ計画を目標に取り組んでいる。

問題は林業の収支が、森林所有者目線では次への投資へ繋がっているのか、収支の改善の取組と50年スパンの森林資源の活用までの期間を成長が優れたエリートツリーや早生樹等を有効活用し、林業収支改善を進めたい。

採算性のバックアップの問題は、県内では初めて仁淀川町に再造林のための基金が設立され、高知県としても再造林率向上のために支援する取組を進めている。

担い手の問題は、再造林を専門とする事業者が出て来ており、既存の再造林を行なっている事業者の底上げと同時に担い手対策も進めている。

基本的に採算性の向上、所有者のバックアップ、担い手の問題の3つの形で再造林率アップに向け取り組んでいるところである。

○川田 座長

対象樹種の検討、再造林化を進めていく上での基金、行政支援等全体的な底上げを図りながら再生産への取組みを行政として進めているとのことであった。

最後に国有林の立場から伺いたい。

○四国森林管理局 武田 森林整備部長

需給については概ね年4回供給調整検討委員会を開催。先月第3回の委員会を開催し、材価は下落はしているが安定傾向であり、国有林として特別に行うことはないとの結論。先月23日に積雪があり影響を危惧したが、本日の話を聞いて長期影響はないと考えている。

国有林は安定供給に向け、システム販売、早期発注を進めていきたいので協力をお願いする。

○川田 座長

議事(2) その他へうつります。

会議資料として共有しております参考資料については、各自皆様において内容をご確認いただきたく存じますが、そのうちの、参考3木材産業における作業安全について、参考6木質バイオマスにおける持続可能性について等の一部重要な内容について、林野庁のご担当より説明をお願いします。

○林野庁 木材産業課、木材利用課

参考3、6について説明。

○川田 座長

さきほどの林野庁からの説明について、その他の情報提供、また、全体に対してのご意見やご質問はありますか。

○宇和国産材加工協同組合 井上 代表理事

山側の担い手不足等の問題により出材不足があったが、ウッドショックによる原木価格の上昇により新たな増産、安定した出材となったが、結局価格が安価で、採算が合わないのが原因だと思う。

価格安定は製品を安価販売せず、原木価格の安定した維持と山側が安定した出材が出来るようにすることが必要と思う。また製材業者も需要者側との信頼関係を築き、いかに安定供給するか努力が必要ではないかと思う。行政等の補助金だけでは経営は成り立たないのではないかと

思う。補助金頼りではなく自力で経営がやっていけるような施策が必要である。

製品価格の高い原因の1つは、仕入れた丸太が全て使用できるわけではなく、製品にならないものもあるため、価格が高くなっていく場合もあるので、適正価格の判断が難しくなると思う。一度、製材現場も見てもらえば理解いただけるだろうし、需要者側との信頼関係を築ければサプライチェーンの構築は可能と思う。国産材の需要増加のためお互いが協力していくべきではないかと思う。

○川田 座長

貴重なご意見ありがとうございます。

関係する各業界団体で共有していくことが、国産材供給体制確立の第一歩ではないか。

まとめとして、ウッドショックは徐々に収束しつつある状況で、一時のようなパニック状態は落ち着き、コロナショックによる建築資材の高騰、建築着工率の低迷があり、木材需給の安定化を図るため、今後木材非住宅分野の需要開発や国産材の商品開発が重要。

また、急騰した木材価格も下落傾向がみられ、円安の影響、海外の動向等先の読めない状況が続いている一方、カーボンニュートラルや ESG 投資などといった観点から木材利用に注目が集まっている。これらをどう追い風にして安定的な木材供給体制の構築や輸入リスクを踏まえた国産材の活用拡大を進めていくか重要な課題。皆様の今後の行動につながる、必要な情報の交換が行える場として、この需給情報連絡協議会をより有効に活用していくことが必要と感じる。

本日は皆様から多様なご意見をいただきました。出席者の皆様のご協力に感謝申し上げます。

(以上)